

## 令和3・4年度複合構造委員会 第11回幹事会 議事録

日 時：2022(令和4)年12月16日(金)14:00～17:15

場 所：土木学会 A 会議室 & Zoom

出席者：松本委員長，牧副委員長，齋藤(隆)幹事長，大久保幹事，大山幹事，川端幹事，北根幹事，~~斉藤(成)幹事~~，櫻庭幹事，塩畑幹事，平幹事，内藤幹事，中村幹事，仁平幹事，橋本幹事，皆田幹事，山本幹事，岡崎事務局

配布資料：

- 幹11-0 令和3・4年度 複合構造委員会 第11回幹事会 議事次第(案)
- 幹11-1 令和3・4年度 複合構造委員会 第10回幹事会 議事録(案)
- 幹11-2 メール審議報告
- 幹11-3 令和4年度 委員会予算執行状況
- 幹11-4 令和5年度の重点研究課題について
- 幹11-5 令和4年度 土木学会功績賞の推薦について
- 幹11-6 第9回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 幹11-7 土木学会論文集A1特集号：複合構造
- 幹11-8 複合構造の継続教育
- 幹11-9 出版関連報告
- 幹11-10 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 幹11-11 H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会
- 幹11-12 H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会
- 幹11-13 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会
- 幹11-14 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 幹11-15 H218 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会
- 幹11-16 H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会
- 幹11-17 H221 樹脂・FRP材料による複合技術研究小委員会
- 幹11-18 H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用と性能照査型設計法の確立に向けた研究小委員会(案)
- 幹11-19 令和5年度 ジョイントセミナー応募の案内
- 幹11-20 令和3・4年度 第4回 複合構造委員会 議事次第(案)
- 幹11-21 次期委員長候補者選挙について
- 幹11-22 日刊工業新聞社「日本産業技術大賞」の推薦依頼について
- 幹11-23 第12回 幹事会について
- 幹11-24 令和5年度 全国大会共通セッションテーマ申込みについて
- 幹11-25 構造工学委員会 共通示方書改定案への意見照会について

議事内容：

### 1. 委員長挨拶

松本委員長より，開会の挨拶がなされた。

## 2. 複合構造委員会 第10回幹事会 議事録(案)確認 (幹11-1)

齋藤幹事長より、第10回 幹事会 議事録(案)の説明がなされ承認された。

## 3. メール審議の報告 (幹11-2)

齋藤幹事長より、親委員会に諮ったメール審議2件(運営細則, H101 複合構造標準示方書小委員会 委員構成案)について報告がなされた。その結果、運営細則の表記方法について意見を頂き、その意見に基づいて修正を行った内容について、説明がなされた(第4回 複合構造委員会にて再度審議)。

## 4. 令和4年度 委員会予算執行状況 (幹11-3)

齋藤幹事長より、資料に基づき、現時点での委員会予算の執行状況について報告がなされた。状況を確認する中で、「第9回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」講演者、「第6回 若手技術者のための複合構造セミナー」講師への謝金が含まれていないのではとの意見が出され、事務局に確認することになった。

## 5. 令和5年度 重点研究課題について (幹11-4)

塩畑幹事より、資料に基づき、2023年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書、研究課題名『Society5.0に向けた社会インフラの管理システム構築のための調査研究』について説明がなされた。説明の後、以下の意見が出された。

- 審査員に対して、「複合構造物におけるデジタルツインを実現する」とは、具体的に何を行うのか、「フィジカル空間での性能が把握されていない材料」とは何か(申請書内では、ゴム材料を指している)を理解して頂くために、より丁寧な説明が必要であると思われる。
- この研究課題は、実験よりか調査を行うことが主になるので、そのための予算(調査費)も計上しておく方が良い。
- 研究代表者は、牧 副委員長とする。

上記の意見を踏まえて申請書を加筆修正の後、再度、幹事会内で確認を行い、期日までに齋藤幹事長より事務局宛に提出を行う。

## 6. 土木学会功績賞の推薦について (幹11-5)

齋藤幹事長より、松本委員長が、土木学会功績賞への推薦書作成を進めているとの報告がなされた。なお、事務局への提出期限は、2023年1月20日(金)となっている。

## 7. 令和5年度 全国大会共通セッション申し込み (幹11-24)

齋藤幹事長より、資料に基づき、土木学会全国大会「第78回年次学術講演会」共通セッションテーマとして[複合構造物]で応募し、受け付けられた旨の報告がなされた。

## 8. 第9回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム (幹11-6)

仁平幹事より、資料に基づき、まず、「第9回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」(2022年11月1日(火)~2日(水))の開催報告がなされた。

- 講演数: 27, 学会として初のハイブリッドでの開催であったが、参加者数は72名(2020年度: 64名 <Web開催>), 議論も活発に行われ、成功に終わることが出来た。

つぎに、今回のシンポジウムより、概要や原稿の集約、発表者からの問合せ対応など全てをシンポジウム小委員会の実行WGが担うことになったため、来年度以降のシンポジウム運営に対する問題提議がなされた。今後、シンポジウム小委員会内で体制・担当について検討を行い、次回の幹事会にて、議論を行うことになった。

#### 9. 複合構造の継続教育 (幹11-8)

中村幹事より、資料に基づき、「第6回 若手技術者のための複合構造セミナー～複合構造の基礎講座～」, eラーニングWGの複合構造を紹介するホームページ作成の進捗状況について報告がなされた。

- セミナーへは、趣意通り、主に、橋梁メーカーに勤める若手技術者が参加し、初企画であったが無事に終えることが出来た。
- セミナー終了後、アンケートを実施しており、今後、演習の時間配分など内容を精査し、次回以降のセミナー実施に向けて反映していく予定である。

#### 10. 令和5年度 ジョイントセミナー応募について (幹11-19)

齋藤幹事長より、資料に基づき説明がなされ、来年度の助成申請は見送ることになった。

#### 11. 構造工学委員会 土木構造物共通示方書の意見照会に対して (幹11-25)

齋藤幹事長より、親委員会に対し、土木構造物共通示方書の改訂1次原稿(案)に対する照会を行ったところ、原稿(案)に対する意見を頂くとともに、照会自体のあり方について提案が出された旨の報告がなされた。今後、その内容をとりまとめ、期日までに構造工学委員会宛に回答する。

#### 12. 土木学会論文集A1特集号：複合構造 (幹11-7)

櫻庭幹事より、資料に基づき、特集号の進捗状況報告(8編の投稿(論文：4編、報告：4編、現在、査読中)、招待・展望論文(奥井 第6代委員長)ならびに小委員会報告2件)および「特集号のJ-STAGE掲載についての原則」について説明がなされた。その後、意見交換が行われ、例えば、今回、上記の8編は、「特集号のJ-STAGE掲載についての原則」に基づいて対応して頂いたとのことだが、今後、特集号への推薦後、新規部分が追加され内容が変わるのであれば、推薦自体が難しくなるのではないかなどの意見が出された。この件については、引き続き、議論を行うこととする。

#### 13. 出版関連報告 (幹11-9)

櫻庭幹事より、資料に基づき、出版関連報告の状況について報告がなされた。

#### 14. 小委員会報告審議事項 (幹11-10～18)

##### (1) H101 複合構造標準示方書小委員会 (幹11-10)

齋藤幹事長より、再構成された委員で、2022年11月11日に第4回全体委員会を開催したとの報告がなされた。

##### (2) H108 土木構造物の300年暴露プロジェクト小委員会 (幹11-11)

大久保幹事より、ゴム試験体の暴露試験が11月21日より開始され、残るFRP試験体は製作準備中であるとの報告がなされた。

(3) H109 複合構造技術の発展に関する調査小委員会 (幹 11-12)

仁平幹事より、年内に委員を確定し、幹事会内で確認後、第4回複合構造委員会にて諮る流れであり、第1回目は2023年3月に開催する予定であるとの報告がなされた。

(4) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会 (幹 11-13)

川端幹事より、資料に基づき、最終の活動報告がなされた。

(5) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会 (幹 11-14)

仁平幹事より、資料に基づき、最終の活動報告がなされた。

(6) H218 FRP 複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会 (幹 11-15)

橋本幹事より、第6回(2022年12月)と第7回(2023年3月)に小委員会を開催し、報告書を取りまとめていくとの報告がなされた。

(7) H220 グリーングレーハイブリッドインフラの評価に関する研究小委員会 (幹 11-16)

川端幹事より、2023年から第2期の活動が開始するとの報告がなされた。

(8) H221 樹脂・FRP 材料による複合技術研究小委員会 (幹 11-17)

橋本幹事より、委員の公募が終了し、委員長、幹事長を含め16名の構成となり、現在、第1回小委員会の開催日時を調整中との報告がなされた。

(9) H222 複合構造におけるプレハブ・プレキャスト工法の活用と性能照査型設計法の確立に向けた研究小委員会(案) (幹 11-18)

内藤幹事より、資料に基づき、説明がなされた。なお、小委員会活動において、接合方法は1社に偏らないようにする、万が一、実験を行う場合には、メーカーの協力を仰ぐ、研究助成を申請することを考えているとのことである。

15. 第4回 委員会議事次第(案) (幹11-20)

齋藤幹事長より、2023年1月19日(木)に開催される「第4回複合構造委員会」の議事次第について、説明がなされた。

16. その他 (幹11-21~23)

齋藤幹事長より、資料に基づき、以下の報告および説明がなされた。

- 日刊工業新聞社「日本産業技術大賞」の推薦に対する回答は無かった。
- 次期委員長候補者選挙：期日までに、事務局宛に1名に対する推薦書が届いている。
- 第12回幹事会(2023年3月9日(木)~11日(土))の予定について

最後に、牧副委員長より、閉会の挨拶がなされた。

以上  
(記録：大山 理)